



国際交流員ザブリーナ・リンのコラム

Karneval カーニバルは何でしよう?



イースターはクリスマスと同じくキリスト教の大事な祭りですが、イースターを迎える前にも様々な行事が行われています。その中の一つに「カーニバル」と呼ばれるものがあります。地方によっては「ファッシング」、「ファストナハト」と呼ばれています。私の出身のノルトライン・ヴェストファーレン州だと、「カーニバル」(Karneval)という言葉を使う人が多いです。カーニバルが盛んな地域はラインラント地方(ドイツ西部、ライン川沿岸の1帯)です。特にマインツ、ケルン、デュッセルドルフ、ボンでは「カーニバル」を真剣にお祭り騒ぎしています。一般的に昔からカトリックの影響が強い地方だと、伝統的なカーニバルの風習がまだ残っています。



カーニバルは「5つ目の季節」だと言われます。11月11日の午前11時11分に始まり、「灰の水曜日」(Aschermittwoch)う四旬節の初日、復活祭の46日前にあたる日)に終わります。今年の「灰の水曜日」は2月13日でした。カーニバルは11月から2月までとても長い期間行われますが、11月、12月、1月は大体屋内のイベントです。ステージの上では様々な漫才、音楽演奏、ダンスの発表、社会や政治をテーマにした面白い講演会などが行われています。

カーニバルのハイライトは、いわゆる「木曜日の女性のカーニバル」から「灰の水曜日」までの週です。「バラの月曜日」には大規模なパレードが行われ、愉快的な仮装をし、伝統的な民族衣装や仮面をつけてパーティーやパレードを楽しみます。この伝統の起源は、冬を追い払うという古い風習から来ています。ところで、本当の話かどうかわかりませんが、カーニバルに関するうわさが耳に入りました。日本人の男性が丁度カーニバルの時にラインラントに行ったらしく、電車から降りようかという時に、ドイツの女性が突進してきて、日本人男性のネクタイを切っていました。大ショックを受けた日本人男性はすぐに帰国してしまいました。ドイツの習慣が分からないことも怖いだけでなく、失礼を感じてしまいそうですよね。でも、とても面白い習慣です。木曜日の「女性たちのカーニバル」の日は、この日だけは女性家事をしなくても良いという習慣が理由で、今では何をやるのも良い日、女性が天下の日となったそうです。この日の11時11分、女性は男性のネクタイを次々にハサミで切ります。男性たちはこの日に素敵なネクタイをしないように気を付けます。もし女性にネクタイを切られてしまったら、補償として頼にキスしてもらいます。

国際交流員リンの「イベント」 第10回

イースター・エッグ・イベント

ドイツの伝統的な飾り

in 下野薬師寺史跡まつり

イースターエッグを作りましょう!

イースターの風習

として最も有名なものに、イースター・エッグ(英Easter egg)があります。これは、復活祭のときに、殻に鮮やかな彩色をした、美しいゆで卵を出す習慣です。生卵の身を出して絵の具で染めたものを家の中に飾ります。

作り方を教えるのは私、ドイツ出身の国際交流員リンです。子どもはもちろん大人も大歓迎です!

■日時 3月3日(日)

■午前9時30分開会(雨天中止)

■場所 下野市歴史館 広場

■参加費 無料

(ただし、卵は1人2個まで)

※卵の数には限りがありますので、ご了承ください。

■申し込み 不要

■問い合わせ先

生活安全課 ☎(40)55505

✉siashimotsuke@gmail.com

(史跡まつりに関する問い合わせ先)

下野薬師寺歴史館

☎(47)31211



■人口と世帯(2月1日現在)

人口/60,314人(+12)、男性/30,042人(+6)、女性/30,272人(+6)、世帯数/22,082世帯(+27)

TAKE FREE

広報しもつけを設置協力いただけるコンビニエンスストアを募集しています。ご協力いただける場合は総合政策課☎0285(40)5550 情報広報グループまでご連絡ください。

携帯電話
市ホームページ

